



DORP INSPIRATION 2014

地方から紐解くデザイナーのこれから

2014.3.15 ±

12:30受付 / 13:00開演(～18:00) / 懇親会18:30～

会場 鴨江アートセンター(旧名称:鴨江別館)

料金 2,000円(懇親会参加の場合は別途4,000円)

GUEST 鷹野雅弘(スイッチ) / 中川 直樹(アンティ-ファクトリー) / 黒田義隆(ON READING)

三迫太郎 / 関口裕(コンセント) / 三浦佑介(shubidua) / 藤田雅臣(tegusu) /

吉田朝麻・友野可奈子(ZING) / 鈴木力哉(planpot)

主催 DORP実行委員会 お問い合わせ/info@www.dorp.jp

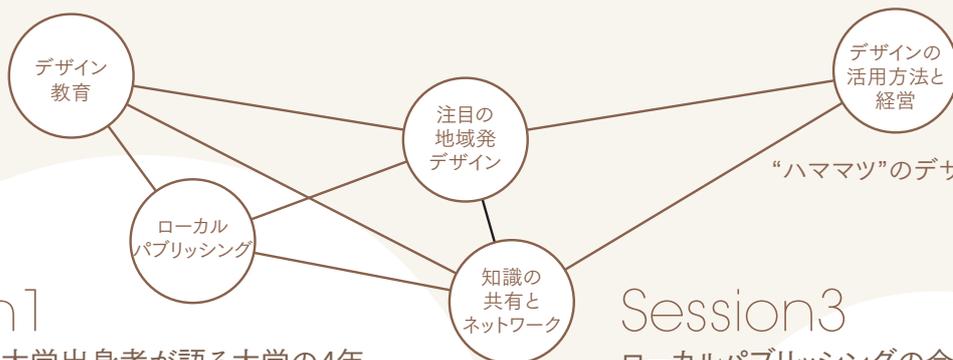


デザイナー・オープンソースプロジェクトは、浜松に関わりのあるデザイナーに焦点をあて、その持てる力を引き出すためのプロジェクトです。「D」esigner 「O」pen 「R」esource 「P」roject。私たち実行委員会はこのプロジェクト名の頭文字を取り、DORP(ドープ)と呼ぶことにしました。

DORPの活動は知ることから始まりました。浜松はデザイナーからどのように見えるのか。浜松でどのように働き、暮らしているのか。期待はあるのか、または失望しているのか。いずれの感情であれ、想いを知ることが問題点を浮き彫りにし、また可能性を見出すことになるからです。

多くの浜松のデザイナーたちにアンケートに協力をいただいた結果、浜松に関わりながら生き生きと働くデザイナーたちに出会うことができました。彼ら彼女らの言葉を貴重なヒントとして集約。取材活動は、フリーペーパー、Webサイトとなって編集され、勉強会や講演を統合したイベントの開催へと結びつくことができました。

そしてみんなのはままっ創造プロジェクトに採択していただいた平成25年度のDORPの集大成として、この度DORP INSPIRATION 2014「地方から紐解くデザイナーのこれから」と題したトークイベントを開催します。あたらしい地域から生まれるデザインの形についてみなさまと考えていけたらと思います。また、翌日には「はままっすデザイン会議2014」も連日開催されます。3月15、16日は浜松のデザインについて考える刺激的な2日間となることでしょう。



“ハママツ”のデザインを5つの視点から考える

Session1

静岡文化芸術大学出身者が語る大学の4年



関口 裕 (株式会社コンセント)

1983年静岡県生まれ。株式会社コンセントのアートディレクター。静岡文化芸術大学でプロダクトデザインを修める。株式会社アレフ・ゼロ(現コンセント)にて主に写真・パソコン・マネー・料理などの雑誌デザインを中心に書籍・広報誌など紙媒体のデザイン、またデジタルメディアのデザインに従事。多目的施設のアイデンティティ・デザインなどツールを通じた場のデザインについても手がける。



三浦佑介 (shubidua)

アートディレクター/グラフィックデザイナー。1983年、熊本県生まれ。愛知県豊田で育つ。静岡文化芸術大学を卒業後、広告制作会社を経て2011年から独立。VI&CI、広告やパンフレット、書籍など様々な分野で活動。日本グラフィックデザイナー協会(JAGDA)会員。



藤田雅臣 (tegsu)

1983年静岡県生まれ。静岡文化芸術大学 デザイン学部卒業。制作会社にて、企画・編集・ディレクションの仕事に携わった後、デザイナーに転身。広告制作プロダクションでコスメ、ファッション、雑誌関連のデザイン・アートディレクションに携わり、2012年デザインオフィス「tegsu」を設立。ブランディングの考え方を軸に、企業や店舗のCI・VI開発、グラフィック・WEBデザインなどにおいて、コンセプトの立案から幅広く行っている。



鈴木力哉 (planpot)

1983年静岡県浜松市に生まれる。静岡文化芸術大学デザイン学部技術造形学科卒業後、Web デザイナーとして Webサイト制作会社に勤務。2012年よりフリーランス。「planpot™」として浜松を拠点に活動中。2013年、本プロジェクトを立案。DORP実行委員会委員長。

Session2

東京から福岡にまたいで見えるローカルとデザイン



三迫太郎

1980年福岡県北九州市生まれ。2008年からフリーで活動中。最近の仕事は「YCAM10周年記念祭」Webサイト、三菱地所アルティアム「minaperhonen 1995→」宣伝美術など。本業そっこのけでブログ「taromagazine」、zineコミュニティ「10zine」、九州サブカルチャーを編集するポータル「Prefab」運営などの課外活動も。2010年からは九州ちくご元気計画に講師として参加し、ちくご地域の企業とのコラボレーションも継続中。

Session1から引き続き関口裕、三浦佑介、藤田雅臣、鈴木力哉を加えて

Session3

ローカルパブリッシングの今。メディアになる・つくる



黒田義隆 (ON READING)

2006年、名古屋・東山公園に作り手の温度が伝わるような存在のある本をセレクトしたbookshop & gallery「ON READING」を開店。「紙媒体によるコミュニケーション」がテーマ。ZINEなど国内外のインディペンデントな出版物も多数取り揃える。パブリッシング・レーベル「ELVIS PRESS」も主宰。2013年、名古屋を中心に東海地方のカルチャー・トピックを紹介、提案するWEBマガジン「LIVERARY」を創刊。



ZING (吉田朝麻、友野可奈子)

浜松市街地の空き店舗を利用した来場者参加型のZINE(冊子)制作&展示スペース「ZING」を運営。

吉田朝麻/1984年生まれ。京都出身。10周年目の音楽活動名義マッスルNTTや障害福祉サポートレッツでの音を通じたイベントを企画、印刷媒体を通じた場所作りユニットZING主宰。

友野可奈子/1987年生まれ。静岡県出身。イラストレーター。2011年zineのイベントを企画したことで吉田氏と出会い意気投合、その後ZINGというユニット名で2012年より活動を始める。

Session4

CSS Nite 9年目に見る勉強会の今とこれから



鷹野雅弘 (株式会社スイッチ)

Webサイトの構築やコンサルティングを中心に、WebやDTPIに関する講演やトレーニングのほか、書籍の企画や編集、スクールなどのカリキュラム開発も手がける。2005年からCSS Niteを主宰。日本全国、および海外に展開し、380回を超える関連イベントを通して、のべ48,000名を超える方が参加している。テクニカルライターとして20冊以上の著書を持ち、総販売数は14万部を超える。主な著書に『よくわかる Dreamweaverの教科書』(共著、マイナビ)、企画編集を行った書籍に『現場のプロから学ぶXHTML+CSS』(マイナビ)など。

Session5

デザインは、いったい、何を解決できるのか?!



中川直樹 (株式会社アンティー・ファクトリー)

1969年浜松市生まれ。ニューヨーク州立大学(F.I.T)広告デザイン学科卒業。NYにてWeb、グラフィックデザインに従事。1997年有限会社アンティー・デザイン設立。2001年Web戦略・制作をワンストップで行う株式会社アンティー・ファクトリー設立。2004年システムコンサルティング・開発を行う株式会社アンティー・システム設立。2009年度より社団法人JWDA会長。企業、自治体向け講演多数。